



水稲用一発処理除草剤



サラブレッド ^{カ イ} KAI[®] 400FG

®は協友アグリ(株)の登録商標です。



高性能

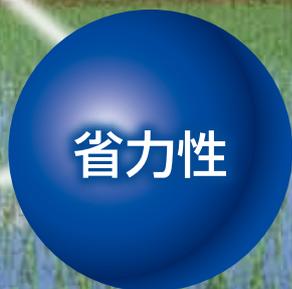
効果も! コストも! 使って爽KAI!!!



畦畔からの散布



ドローンでの散布



省力性



低コスト



WCS用イネにも使えます!!

3成分配合

ピラクロニル

オキサジクロメホン

イマズスルフロン



ノビエ



コナギ



アゼナ



ホタルイ



クログワイ

水稲用一発処理
除草剤



カイ
サラブレッド KAI 400FG

農林水産省登録
第24393号

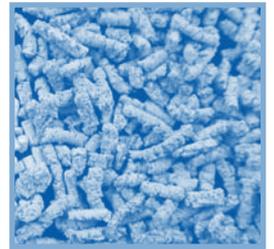


■有効成分(一般名) ピラクロニル:5.0% オキサジクロメホン:0.75% イマズスルフロン:2.25% ■人畜毒性:普通物* *毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

特長

～FG剤(Floating Granule)とは～

- ①軽量かつ水面を自己拡散する新しい製剤です。
- ②圃場の大小に関わらず畦畔から散布可能で、散布の労力と時間の低減に貢献します。
- ③ドローンでも散布可能です。1キロ粒剤より軽く、短時間に散布できるためバッテリー消費を節約できます。ドローン散布時は、畦畔から大きく離れて散布することで、突風時のドリフトリスクを軽減できます。



2021年11月現在の登録内容

適用雑草の範囲及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニル を含む農薬の 総使用回数	オキサジクロメホン を含む農薬の 総使用回数	イマズスルフロン を含む農薬の 総使用回数	雑草名	散布適期
移植水稲	一年生雑草及び マツバユ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ、 オモダカ、クログワイ コウキヤガラ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日 まで	400g	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	2回以内	2回以内	2回以内	ノビエ	2.5葉期まで
									ミズガヤツリ ホタルイ ウリカワ	2葉期まで
									ヒルムシロ	発生期まで
									セリ	再生前～ 再生始期まで
直播水稲	一年生雑草及び ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前 まで	400g	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	2回以内	2回以内	2回以内	オモダカ クログワイ	発生前～ 発生始期まで
									コウキヤガラ	発生始期まで

湛水周縁散布での上手な使い方

風上側の畦畔1～2辺から圃場に向かって投入する。
1袋を数回に分けて散布する。



本剤を十分に拡散させるためには

処理時の水深は
5cm以上

藻類・浮草のある
場所には散布を避ける

1点に全量を
落とさない

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前～再生始期まで、オモダカ、クログワイは発生前から発生始期まで、コウキヤガラは発生始期までが本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 使用に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また湛水周縁散布の場合は水田周縁部に帯状に散布してください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 著しい降雨が予想される場合には除草効果が低下するおそれがあるので散布を控えてください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
・散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- ・専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
- ・事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
- ・散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れた位置から圃場内に散布してください。
- ・水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 貯蔵上の注意事項
直射日光を避け、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

本資料の記載内容は2021年11月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。